

都議会議員 KOBAYASHI KENJI

小林けんじは届けます。

誰にとっても安全・安心の東京を！
4つの
家庭応援
計画！

未来に責任。
安全・安心の東京
そして練馬へ！

PROFILE

1969年 練馬区石神井町生まれ(55歳)
石神井保育園卒園、区立光和小学校卒業
区立三原台中学校を経て都立鷺宮高等学校卒業
創価大学文学部人文学科卒業
1996年から衆議院議員公設秘書として13年間活動
2009年 東京都議会議員選挙初当選(現在4期目)

◆ 現役職・所属

都議会公明党政務調査会長代行
都議会経済・港湾委員会委員長

◆ エトセトラ

家族:妻・実母

好きな言葉:我以外皆我師也



小林けんじを1分で紹介 ->



1 教育負担が「かからない」東京へ

- 所得制限なしで基本的な子育て・教育を無償化する「子どもベーシックサービス」の導入を実現します。
- 民間のネイティブ人材を活用し、全公立小中学校での英語教育を充実させます。

2 現役世帯の「所得が増える」東京へ

- 現役世帯の平均年収を、今後5年間で200万円引き上げることをめざします。
- 就職氷河期世代のセカンドキャリア支援として、学び直し(リスキリング)の機会を拡充します。

3 物価高に「負けない」東京へ

- 空き家や空きビルを活用し、市場価格よりも安価に入居できる住宅制度を整備します。
- 東京都公式アプリを通じて、15歳以上の都民1人あたり7,000円分のポイントを付与します。
また、高齢者を対象にスマホ購入補助を実現します。

4 「安全・安心」な東京へ

- 個人宅向けの防犯機器購入費用を補助します。
- 豪雨に備え、地下調節池を増設し、「地下河川化」を促進します。
- 企業に対して奨励金の活用を促進し、不妊治療休暇制度の導入を推進します。

総合経済対策の迅速な執行と防犯対策強化に関する緊急要望!!



▲2024年12月12日 区長室にて

小林けんじ公明党総支部長は、前川区長に対し、総合経済対策の迅速な執行や防犯対策の強化を求める緊急要望書を手渡しました。

<緊急要望要旨>

- 物価高対策として、キャッシュレス決済ポイント還元やプレミアム付きデジタル商品券などの経済対策
- 防犯カメラやカメラ付きインターフォンなどの防犯対策推進
- 中小企業への賃上げの後押しの支援

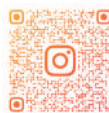
SNS情報発信
しています！



LINE 公式アカウント



Instagram



X (旧 Twitter)



2025年4月開院 “光が丘医療福祉プラザ” (旧練馬光が丘病院跡施設)

入院から在宅生活まで、切れ目のない医療と介護を提供できる病院機能の充実を要望してきました。

- 病院・医療療養病床 (48床)
- 地域包括ケア病床 (50床)
- 緩和ケア病床 (16床)
- 老年心療内科病床 (43床)
- リハビリテーション
- 介護医療院 (100床)
- 訪問看護
- 病院併設 光が丘福祉専門学校



23区初! 三原台2丁目の用地を活用し、 重度障がい者の地域生活支援拠点を整備 (2029年開設予定)



これまで重度障がい児・者の保護者の方々から、家族の高齢化や「親亡き後」の課題など、さまざまな声を伺ってきました。

- 重度障がい者の通いの場の提供
- 医療型ショートステイの整備
- 地域の医療的ケアを支える人材を育成
- 療養介護施設等の整備

◀ 新たな施設の完成予想図

スマホアプリ「練馬区デマンドタクシー※」実証実験 地域公共交通の維持と新たな交通手段の発展に向けて

※デマンドタクシーとは、予約に応じて運行する乗り合いタクシー



練馬区では、今後予想されるバス運転手不足を背景に、路線バスやみどりバスのあり方を見直すとともに、道幅の狭い道路などにおいても新たな交通手段の導入を検討し、持続可能な交通網の再構築に取り組んでいます。

今回、練馬区の南大泉・東大泉地区において、デマンドタクシーの実証実験を実施し、新たな交通手段の実効性を検証しています。

これらの成果を交通空白地域へ拡大することを要望しています。

